

「大腸癌肝転移の組織検体を用いた遺伝子パネル検査で癌関連遺伝子変異を同定できるか検討することを目的とした単施設後ろ向き観察研究」

1．研究の対象

大腸癌の肝転移と診断された患者さんで、過去に当センターで肝転移に対して外科的切除を受けた方

2．研究目的・方法

「目的」肝転移の組織を用いた遺伝子パネル検査で遺伝子変異を同定できるか検討すること。

「方法」対象患者さんの肝転移巣の組織検体から DNA を抽出し遺伝子パネル検査で遺伝子変異を測定する。

「研究期間」2021 年 2 月 3 日～5 月 1 日

3．研究に用いる試料・情報の種類

試料：大腸癌肝転移の組織検体（ホルマリン固定パラフィン包埋）4 例

情報：診断名、年齢、性別、検査所見、治療内容、遺伝子検査の測定結果 等

4．個人情報および知的財産

個人情報保護について、適応される法令、条例を遵守します。本研究で得られた成果による知的財産権は、大阪急性期・総合医療センターに帰属します。また、研究成果は主要な関連学会で発表し、専門学術誌に英文論文として公表する予定です。

5．研究に係る被験者の費用負担、研究資金源と利益相反

患者さんへの経済的負担や謝礼は一切発生しません。研究資金源は民間の医学研究助成金です。開示すべき利益相反は一切ありません。

6．遺伝子カウンセリングの案内

本研究では遺伝子に関わる検査を行うため、患者さんの不安や希望があれば必要に応じて遺伝子カウンセリングをご案内します。

7．お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先

大阪市住吉区万代東 3-1-56

大阪急性期・総合医療センター 消化器外科

研究責任者：医長 井上彬

電話 06-6692-1201 内線 2270